

MACF 礼拝説教要旨

2023年9月10日

【メメントモリ】

ルカによる福音書 21 章

25 また日と月と星とに、しるしが現れるであろう。そして、地上では、諸国民が悩み、海と大波とのとどろきにおじ惑い、

26 人々は世界に起ろうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。もろもろの天体が揺り動かされるからである。

27 そのとき、大いなる力と栄光とをもって、人の子が雲に乗って来るのを、人々は見るとであろう。

28 これらの事が起りはじめたら、身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの救が近づいているのだから」。

29 それから一つの譬を話された、「いちじくの木を、またすべての木を見なさい。

30 はや芽を出せば、あなたがたはそれを見て、夏がすでに近いと、自分で気づくのである。

31 このようにあなたがたも、これらの事が起るのを見たなら、神の国が近いのだとさとりなさい。

32 よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起こるまでは、この時代は滅びることがない。

33 天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は決して滅びることがない。

34 あなたがたが放縦や、泥酔や、世の煩いのために心が鈍っているうちに、思いがけないとき、その日がわなのようにあなたがたを捕えることがないように、よく注意していなさい。

35 その日は地の全面に住むすべての人に臨むのであるから。

36 これらの起ろうとしているすべての事からのがれて、人の子の前に立つことができるように、絶えず目をさまして祈っていなさい」。

すべてこの地上に存在する命には終わりがあります。

イエス様はエルサレムの崩壊を予告してから、（これは紀元 70 年に起こりました）、世界的な終末について語られました。

さまざまな天変地異、災害など、終わりの時代を気づかせる出来事が起こることを預言しておられます。

*

25 また日と月と星とに、しるしが現れるであろう。そして、地上では、諸国民が悩み、海と大波とのとどろきにおじ惑い、

26 人々は世界に起ろうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。もろもろの天体が揺り動かされるからである。

27 そのとき、大いなる力と栄光とをもって、人の子が雲に乗って来るのを、人々は見るとであろう。

28 これらの事が起りはじめたら、身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの救が近づいているのだから」。

＊ ＊

1) 自然界における災害や天変地異

世界各国が熱波に見舞われた 2023 年 7 月。世界の平均気温が観測史上もっとも高い月となった。国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た」と警告しました。

2023 年の資料によれば

イタリア、スペイン、ギリシャなどのヨーロッパ南部は、猛烈な熱波に見舞われ、45°Cを超える暑さ続きで、熱中症で運ばれる人や山火事が相次いでいる。

容赦ない熱波に見舞われるカリフォルニア州南西部。すでに、テキサス州、フロリダ州、アリゾナ州では数週間にわたって危険なほどの暑さが続いている。

フロリダ州キーズの海では、海面水温が 38.4°Cまで上昇。風呂並みの温度まで上昇し、これは世界的な記録になる可能性が高いと報じられている。

◆サイクロン（インド）'23 年 6 月、パキスタンとの国境付近、インド西部に風速 29 メートルの巨大サイクロン『ビボルジョイ』が上陸。ビボルジョイはベンガル語で「災害」を表す。

◆大洪水（南アフリカ）'22 年 4 月、南アフリカの東部沿岸で大洪水が発生し、ほとんどの道路が陥没した。死者は 400 人以上にのぼり、州政府は「国家史上最悪の嵐の一つ」と述べた。

◆熱波（スイス）熱波によるローヌ氷河の消失が加速。消失を防ごうと、近隣住民による紫外線カット加工の防水布で氷河を覆う作業が行われていた。

◆干ばつ（アルゼンチン）アルゼンチンは国土の 54%以上が干ばつの影響を受けるほどの被害。海水温度が急上昇して、サラド川で魚が大量死する様子も。

◆干ばつ（中国）中国最大の淡水湖・ポーヤン湖が過去 70 年で最大の干上がり。長い猛暑と雨不足が続き、干ばつが壊滅的状况で砂漠化寸前だ。

◆降雹（こうひょう）（ロシア）'23 年 6 月、大気が不安定になった影響でシベリアのオムスク州で降雹があった。7 月に入ってから森林火災の拡大も起き被害は深刻。 ◆大落雷（イタリア）'22 年 8 月、イタリア南部カラブリア州に落雷とゲリラ豪雨が起きた。真っ黒な雲からピンク色の稲妻が光った瞬間を捉えた一枚だ。

◆砂嵐（モンゴル）'23 年 5 月、モンゴルの首都・ウランバートルで大規模な砂嵐が発生。空一面が砂嵐に覆われて、近隣住民は家の中に避難していた。

最近では中国での大洪水もありましたね。

＊ ＊

これらのことは「起こる」ことなのです。

そこで私たちに求められていることは

- *身を起し頭をもたげなさい
- *神の国が近いのだとさとりなさい。
- *よく聞いておきなさい。
- *その日がわなのようにあなたがたを捕えることがないように、よく注意していなさい。
- *人の子の前に立つことができるように、絶えず目をさまして祈っていなさい

神の約束とともに、それらの出来事の真ん中に置かれていることを自覚すること
他人事にしないこと

「死」は他人事ではないことを知ること

「メメントモリ」

終わりがあることを自覚すること

しかし、その終わりは絶望ではなく、神のいのちに包まれるものであることを知る

1日1日生かされてきたことを自覚し、覚悟をもって明日を生きる意欲を持つこと
そのために

「33 天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は決して滅びることがない。」

ことを信じること

何が起こるにしても「神の国・神の支配の中に」置かれていることを信じ

精一杯、丁寧に今日を生きる姿勢を大切にすること。

なかなか難しいように思いますが、でも、そういうふう生きることで

心の中に平安がもたらされるのだと思います。

そして「主イエス様と直接出会う」ことになるのです。

これらの聖書の言葉も一緒に覚えていきたいですね。

それゆえ、イスラエルよ わたしはお前にこのようにする。 わたしがこのことを行うゆえに イスラエルよ お前は自分の神と出会う備えをせよ

(アモス書 4 章 12 節)

その日はまさに「主イエス様に会おう日」となるからです。

* *

MACF 礼拝映像は

<https://youtu.be/EACORRQ6J4E>

どうぞご視聴ください